

平成24年度年間授業計画(シラバス)

第1学年・算数

月	学習内容(単元)	年間学習目標	
4	・なかまづくりとかず ・こえにだしていおう！！	<p>【算数への関心・意欲・態度】 算数の学習に興味や関心を持ち、意欲的に取り組み、学んだことを進んで用いようとする。</p> <p>【数学的な考え方】 学んだことを生かしながら、具体物を用いた活動を通して、数と数との関係を見つけたり、たし算・ひき算の計算の仕方を考えたりすることができる。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】 たし算・ひき算の計算が確実にでき、それを使うことができ、比較したり、身近な立体の特徴を見つけ仲間わけしたりすることができる。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 100までの数について、その表し方と意味、および計算の意味を理解することができるとともに、数量や図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにする。</p>	
5	・なんばんめ ・いくつといくつ ・あわせていくつ ふえるといくつ		
6	・のこりはいくつ ちがいはいくつ ・10よりおおきいかず		
7	・なんじ なんじはん ・はなはなんこさいたかな ・どちらがながい		
9	・3つのかずのけいさん ・どちらがおおい		
10	・たしざん ・かたちあそび		
11	・ひきざん ・どんなけいさんになるのかな		
12	・どちらがひろい		
1	・20よりおおきいかず ・なんじなんぶん		
2	・ビルをつくろう ・ずをつかってかんがえよう ・かたちづくり		
3	・けいさんピラミッド ・1ねんのふくしゅう		
年間授業時数			136
授業の工夫	<p>○ ブロックやおはじきなどを使った操作活動を取り入れ、まるで困んだり、線をつないだり、数えたりする活動を通して、楽しみながら数の概念や計算の仕方が理解できるようにする。</p> <p>○ たし算・ひき算の計算など、基礎的・基本的な学習内容の定着のために、反復練習をさせる。</p> <p>○ 身の回りにある物を比べたり、観察したり、仲間わけをしたりする活動を通して、数量や図形についての感覚を豊かにする。</p>		
評価について	<p>○ 算数への関心・意欲・態度は、学習中の活動の様子や発表などで評価する。</p> <p>○ 考え方や表現・処理、知識・理解については、プリントやノート、単元ごとのテストで評価する。</p>		
学習方法(家庭学習)など	<p>○ 家庭学習は計算ドリルやプリントを中心に、ほぼ毎日出し、たし算・ひき算の計算などの確実な定着を図るとともに、家庭学習の習慣化を図る。特に、たし算・ひき算の定着のために、計算カードを用いて毎日声に出しながら反復練習させる。</p>		